

2024年度 社会福祉法人つぼみ会 LIFESCHOOL桐ヶ丘こどものもり 保育自己評価表

【ねらい】

保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、保育所の望ましい管理運営するため、今年度の本書の保育、教育全般等を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かすための本表を活用する。

1. 保育理念・目標・計画・評価

内容		反省・評価
1	保育士一人ひとりが園の方針を理解している	「ひとりひとりをたいせつに」という理念のもと各クラスが年間計画を立案し、日々の記録をもとにPDCAサイクルを回しながら保育の質向上に努めた。園長・主任が各クラスの保育をアセスメントする中で「職員の子どものコミュニケーション」、「保育環境」など子ども主体に欠かせないものをクラスにフィードバックしクラス会議を通して意見交換を重ねた。その都度必要に応じて指導計画を見直し、子どもの発達にあった環境を用意することで、子どもが環境との相互作用の中で発達を促すことができるようにした
2	保育方針や目標に基づいて、クラスの年間計画を立てている	
3	子ども一人ひとりの主体性を大切にされた保育をしている	
4	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している	
5	保育者は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている	

2. 保育の内容

内容		反省・評価
1	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている	乳児クラスは個別の指導計画を作成し、必要に応じてそれを子どもの発達を踏まえて見直しを行った。また環境や日課を子ども一人ひとりの興味や生活リズムに合ったものに都度変更することで子ども一人ひとりが遊び込めることを促した。また家庭との連絡帳のやり取りや、申し送りを用いて健康状態を把握し日々健康に安心して過ごすことができるようにした。行事や日々の保育についてはそれぞれが作成した記録等を用いてカンファレンスを行うことで子ども理解を深め、互いがどのような意図をもって子どもたちと関わっているかを明確にした。
2	一人ひとりの思いを受け止め、その思いをできるだけ実現しようと努めている	
3	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている	
4	子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	
5	身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	
6	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室作りを心がけている	
7	行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している	
8	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている	

3. 保育所の組織・役割分担

内容		反省・評価
1	豊かな集団育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	昼礼を定期的に行うことで各クラス間で情報共有が密になり、円滑な連携が取れていることで、子どもたちに一貫した教育を提供できている。クラスごとの特徴を活かしつつ、全体の統一感が出てきた。連携を強化するための取り組みが着実に成果を上げている。定期的な研修に積極的に参加し、最新の教育理論や保育方法についての知識を深めることができている。特に専門書を読んだことで、実践に役立つ具体的なアイデアや方法を学び、日々の保育に活かした。危機管理において、定期的な訓練とチェックを実施し、全員が適切に対応できるようになっている。火災・地震・不審者進入などの緊急時にも迅速かつ冷静に対応できる体制が整い、安心して保育を行うことができている
2	研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる	
3	研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に活かされている	
4	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	
5	保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている	
6	各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている	
7	各職員が職員会議等で、必要と思う質問や意見を発現することができる	
8	火災・地震・不審者進入等の危機管理に努めている	

4. 家庭・地域社会・情報

内容		反省・評価
1	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心がけている	送迎時には、子どもの一日の様子やその時々のお出来事を保護者に伝えることで、家庭との連携が深まり、子どもの成長や変化に対する保護者の理解が進んでいる。これにより、保護者が日々の保育の中でどのように子どもが過ごしているかを実感でき、安心感を提供してると考える。各種おたよりや掲示板、ブログを活用して、保育の内容や子どもたちの様子を積極的に発信している。これにより、保護者が日々の活動や子どもの成長を身近に感じることができ、園と家庭の繋がりが強化されてると感じる。情報をタイムリーに提供することで、保護者の関心や安心感を高めることができた。
2	送迎時に子どもの姿を保護者に伝えている	
3	保護者の子どもの伸びているところや課題を伝える等、連携をとっている	
4	園だより、クラスだより、保健だより、給食だより、掲示板、ブログ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	
5	地域や保護者の意見を保育や運営に反映している	

5. 事務管理・運用

内容		反省・評価
1	個人記録簿は、適切に記載し、整理管理できている	個人記録簿の管理において、常に正確で詳細な情報を記載し、整理整頓を徹底している。必要な情報が迅速に取り出せる状態を保ち、業務が円滑に進むよう努めた。個々の記録が確実に保存され、必要なときにすぐに参照できる体制が整っていると考える。園内で知り得た個人情報や職場内での情報について、守秘義務を厳守している。 金銭の取り扱いに関しては、常に適正な方法で管理・処理を行った。稟議にかけることで誤った金銭の使用や決済を未然に防いだ。
2	園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている	
3	金銭などを取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている	